



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

## Press Release

### <ビジネス・オン・キャンパス/研究コンシェルジュ制度 の開始について>

工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター長 倉敷 哲生 教授  
(専門領域:信頼性工学, 複合材料工学)



#### 【ポイント】

工学研究科「[テクノアリーナ](#)※」での斬新な取組を2つ紹介。研究の「ゆりかごから墓場まで」をサポート

※(リンクあり)社会課題解決と未来社会創成につながるイノベーションと、分野横断型の新たな学術・研究開発領域を開拓し実践する場

- ◆ 学内での事業化(ビジネス・オン・キャンパス)を単位認定し、学位取得ができる独自の制度・コースを設け、起業志向の高い高校生・卒業生・起業志向社会人の受け皿に。
  - ◆ 若手研究者の活動が軌道に乗るまで/研究成果が社会還元されるまでを、様々な角度から全力バックアップ。退職教授が研究活動まわりのあれこれをお節介(=研究コンシェルジュ制度)。
- ❖ 概要

大阪大学工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター(以下、CFi)では以下の2つの制度を開始しました。これまで以上に強力に研究人材の育成支援・および社会との橋渡しを推し進めてまいります。

#### ① 産学官共創コース アントレプレナーシップ型制度(ビジネス・オン・キャンパス)(2024年4月～)

社会課題解決を目的とした学内での事業化活動を、単位として認定・博士学位取得を可能にする「工学研究科産学官共創コース アントレプレナーシップ型」(ビジネス・オン・キャンパス)を創設しました。

頭の中で思い描いたビジネスモデルを実際に具現化・事業化するのに必要な知識・プロセスを、大学での学びによりサポートし、“起業志向型博士人材”を育成します。また逆に、社会のニーズを敏感に察知するこれらの人材が大学の研究者側にも相互に影響しあうことで、社会と大学をつなぐ場となることも期待されています。



#### ② 研究コンシェルジュ 制度(2023年8月～)



若手研究者が自身の研究活動を軌道に乗せるには、研究環境の整備、資金の獲得など様々なハードルを越える必要があります。それらには必ずしもこれといった正解がありません。これらを手探り状態で進めるために、多くの有能な若手研究者が、モチベーションや時間をそのまますべて研究に向けることができていない現状があります。

そこでCFiでは、退職教授の広範な人脈・経験を活かし、若手研究者の困りごとを解決・外部資金獲得等のサポート(面接練習・申請書のアドバイスなど)を行うことで、これらの課題を解決し、若手研究者の研究環境整備を目指します。



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

## Press Release

実際に今年度の工学研究科の科研費基盤研究(A)の採択状況は昨年度に比べ 2.75 倍に増えています。実際にアドバイス等を受けた若手研究者からは、「今回、(研究コンシェルジュの)谷口先生に時間を割いて調書を添削いただかなかっただら採択は難しかったかもしれません。」などの声が聞かれています。

CFi ではこのほかにも、“テクノアリーナ”から着想を得た新たな教育研究体制を2020年4月より推し進めており、研究→成果→社会実装→課題発見のサイクルにつなげる活動を行っています。

参考 URL: <https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/arena/>